

## ひとり親家庭児童への地域で行う学習・生活支援についての一考察

立命館大学大学院  
応用人間科学研究科  
対人援助学領域  
人間形成・臨床教育クラスター  
桐生 俊明

キーワード：ひとり親家庭，子どもの貧困，学力格差

文部科学省 2013 年度全国学力・学習状況調査と保護者調査の分析で，子どもの貧困が学力格差を生むことが示された。また，ひとり親家庭で育つことが負の効果をもつことも明らかになった。ひとり親家庭児童は，家でも学校でも余裕のない生活を送っているだけでなく，貧困や学力格差にも直面している。本研究は，ひとり親家庭児童を地域で支援する方法を明らかにするものである。まず，先行研究をもとに，貧困と学力格差の関係を示し，ひとり親家庭の困難な現状を分析する。次いで，札幌市や長岡京市の事例をもとに，学習や生活の支援の具体的方法を述べる。地域での支援には，ひと・もの・場所・資金が必要である。教科学習の支援だけでなく，楽しく過ごせる居場所がなければならない。また，ひとり親が安心して子育て相談ができる場も求められている。子どもの生きる力は，ボランティアの個別支援の積み重ねで育まれる。若者から高齢者までの幅広いボランティアの関りをつくることが，地域支援の課題である。